



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

札幌クラブ

2026年7月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

キックオフ/PR

— 主 題 —

国際会長 Waking the Sleeping Giant with Blue Music
アジア会長 Awakening the Asia Pacific Area with Blue Music
東日本区理事 「挑戦なくして進化なし」
No Challenge, No Progress
北海道部部长 「初心に帰り、さらなるステップアップへ」
札幌クラブ会長 「充実した人生を送るためのワイズ活動」

J・W・エルトヴィク
ラチャン・マニカーン
山下 真(十勝)
矢竹 克年(十勝)
小野 健(札幌)

札幌クラブ役員
会 長 小野 健
副会長 山崎 修
書 記 本宮 大輔
会 計 秋葉 聡志
直前会長 小野 健

「成功は偶然ではない。それは努力、忍耐、学習、犠牲、そして何よりも愛情の結果だ。」
ペレ(ブラジル)

「才能は一瞬で消える。でも毎日の努力は裏切らない」
リオネル・メッシ(アルゼンチン)
(小野 健 選)

巻頭言「夏の過ごし方」 安田 文子

すっかり夏らしくなってきました。北海道の夏も以前に比べて暑くなったと感じます。かつては「カラッとしていて過ごしやすい」「夜になれば涼しい風が吹く」というのが定番のイメージでしたが、今年も暑くなりそうです。欧州での記録的な猛暑が話題になっていますが、パリでは40度を越す暑さなのに、歴史的な景観を守るためにクーラーを設置できないという、「利便性よりも美と歴史を優先する」というフランスの美意識には圧倒されます。ポーランドで生活していたときは、夏の過ごし方に驚いたものです。バカンスで1ヶ月近く皆、避暑地に行ってしまうので、お店も閉まって閑散としてしまいます。あなたもどこか山か海に行きなさいと言われ、最初はどこに行けばいいかわからず戸惑ったものです。ポーランドの冬は長く、とても寒いので、夏のうちに日光を浴びて、体調を整えるのが大事なことがわかりました。かつてポーランドの作曲家ショパンが、夏になると必ずお気に入りの田舎に熱心に足を伸ばして休暇を過ごしていたのも、長い冬を前に心と体を満たすための、ごく自然で大切な習慣だったのかもしれません。

札幌ワイズメンズクラブ 2026年7月例会

日 時：2026年7月21日(火) 18:30~20:30
会 場：札幌YMCA 101教室+リモート
会 費：1,500円

司会 山崎 修
① 開会点鐘 会長 小野 健
② ワイズソング、ワイズの信条 全 員
③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 小野 健
④ 開会あいさつ 会長 小野 健
⑤ 誕生日 7月3日 中田 靖泰
7月15日 小野 エリナ

⑥ 結婚記念日 なし
⑦ 卓話 「各会員からの近況報告」
⑧ 諸報告
⑨ YMCA報告 担当主事 北川 佳治
⑩ 今月の歌 「汽車ポッポ」

作詞:富原薫作曲:草川信(1937)
(柴田伸俊 選)

⑪ 閉会点鐘 会長 小野 健

2026年5月例会
出席報告

在籍会員 11名
ゲスト 0名

出席者 9名 メネット 0名 メーキアップ 0名
ビジター 0名 出席者合計 9名 出席率 81%

札幌ワイズメンズクラブ2026年6月例会

日 時：2026年6月18日（火）18:30～20:30

場 所：札幌YMCA101教室+リモート

出席者：秋葉、小野、小谷、北川、柴田、伏木、
宮崎、本宮、（OL）安田、

出席者計 9名

卓 話：小野 健 氏（札幌クラブ会長）

表 題：「2025-2026年度の振り返りと
来期に向けて」



集合写真

前列左から小谷、小野、宮崎、秋葉

後列左から柴田、本宮、（OL）安田、伏木、北川

内容：

クラブ会長3期目の2025-2026年度は、なんといっても2025年10月に開催した札幌クラブチャーター70周年記念式典が一番大きなイベントでした。暗中模索しながら準備を進めたわけですが、クラブメンバー皆様のご尽力のおかげで、山崎さんのモググル人脈で三浦豪太さんというビックゲストをお呼びし、北海道の各クラブや東日本区、京都パレスクラブの皆様と一緒にクラブ70周年をお祝いすることができました。

2025-2026年度の札幌クラブの活動としては、はじめての開催となる北大YMCA汝羊寮の寮生のみんなとのBBQパーティ、柴田前北海道部長が中心に実現いただいたユースも誘っての6月のチミケップキャンプ場ワーク、山崎さんにご尽力いただいた2月のカムイスキーリンクスでのワイズスキー、場所を札幌HITARUに移しての12月の安田文子さんのチャリティーピアノコンサート、札幌YMCAのイベント

（チャリティーラン、プチ夏祭り、秋のチャリティーイベント、水泳発表会、ミニサッカー大会などなど）への参加、多種多様なゲスト卓話者をお招きしての毎月の例会、と盛りだくさんの内容で、札幌クラブメンバーの皆様も楽しく参加いただいたのではと思います。 少しずつではありますが、札幌YMCAのユースリーダーや汝羊寮の寮生のみんなとの交流を通じて、垣根が低くなっているのではと思います。



卓話する小野会長

私個人としては、3期連続でクラブ会長を担わせていただき、研修会や東日本区大会などで多くのワイズメンの皆さんと知り合い、交流させていただき、ワイズメンズクラブっていいなと思うところです。他方、私自身が海外の仕事が多忙になり、海外出張の合間に日本でのワイズの各イベントに参加できるようにスケジュール調整に苦慮しましたし、例会や事務会の多くがオンラインでの出席になってしまっていることは、クラブメンバーの皆さんに大変申し訳ないと思う次第です。とはいってもあと数年はこうしたライフサイクルが続くので上手く工夫していきたいと考えています。

来期の札幌クラブにとっての最大の挑戦となるのが、2027年6月に札幌で開催される「東日本区大会」の主催・運営です。石巻での東日本区大会ですこしだけ裏方のお手伝いをさせていただきましたが、分刻みの進行を動かす運営スタッフの皆さんの姿に、「こりゃ大変だぞ」と周到な準備と各ワイズメンの協力が必要であることを痛感しました。伏木実行委員長のもと、メンバーみんなで力を合わせて大会を成功させていきましょう。数は力なり、ではないのですが、みんなでわいわい楽しいワイズ活動のために、一緒に楽しく活動を行う仲間を増やしていきたいでしょう！また、ユース・汝羊寮との更なる交流や一緒に活動も積極的に進めたいと考えています。

上述のように海外での業務の日々が多いなか、来期も4期目の会長職を努めさせていただきます。相変わらず頼りない会長ですが、皆さんの変わらぬサポートを得て頑張っていきます。



例会の様子

北海道部 チミケップワイズワーク報告

柴田 伸俊

日時：2026年6月13日（土）～14日（日）

場所：チミケップキャンプ場

総勢15名およびYMCAスタッフ4名の計19名が参加しました。

■ 札幌ワイズ関係（10名）

札幌クラブ：小野、伏木、宮崎、柴田、
柴田（メネット）

北大汝羊寮：廣野 龍

ユース：菅 遥香（はるリーダー）、
舟崎 蓮（れんリーダー）

スタッフ：湯井 達海（札幌）、棚瀬 真吾（札幌）

■ 北見ワイズ関係（7名）

北見クラブ：二本松、中崎（※6/13のみ）、
古賀（※6/14のみ）

ユース：鄭 鈺清（あめりリーダー）、
ニコラス ロイド オーバーラッカー
（ニックリーダー）

スタッフ：小林 武史（北見）、植田 浩司（北見）

■ 十勝ワイズ関係（1名）：越智

■ リーダーOB（1名）高橋（タッコリーダー）

日程と活動

【第1日目：6月13日（土）】

07:00 札幌出発。札幌YMCAより予定通り出発。

「足寄道の駅」にて昼食を取りながら移動。

11:30 キャンプ場到着。北見・十勝チームは午前中より先行して作業を開始。幼稚舎親子チームが日帰り活動中。見学。

13:00 幼稚舎親子チーム見送り・全体ワーク開始

札幌ワイズチーム：

ドゥルーリーロッジの防腐剤塗布作業。

リーダー・若者チーム：

薪割り、場内外の草刈り、落ち葉および枯れ枝拾い。
※途中、一時的な雷鳴など不安定な天候となったため、安全を最優先にこまめな休憩を挟みながら作業を継続。後半は天候が回復し、晴天無風の心地よい気候の中で作業を完了。

14:30 小野会長が食材の買い出しを経て自家用車で合流。

15:00 北大汝羊寮の廣野氏が到着（初顔合わせ）。

16:00 全体ワーク終了・場内散策。伏木メンの案内・解説のもと、全員でキャンプ場内を散策。散策中、廣野氏が自前の釣竿で数匹の魚を釣り上げるなど、和やかな時間を過ごす。

17:00 夕食準備・バーベキュー交流会屋外にテントを設営し、バーベキューを開始。十勝クラブ・越智メンより生ガキおよび生ホタテの贅沢な差し入れをいただき、大いに盛り上がる。焼き鳥、焼肉、締めには焼きそばを堪能。夕食後は焚火を囲み、世代やクラブを越えた歓談の花が咲く。



防腐剤塗布（ドゥルーリーキャビン）



薪割り



マイクキャビン



メインホール



チミケップ湖漁獲量



根っこ堀完了



メインホール2F

21:00 星空観察・就寝湖畔から満天の星を仰ぎ、数十年ぶりとなる流れ星を全員で目撃。一同、深い感銘を受ける。ワイズ組はドゥルーリーロッジ、リーダー組はCDキャビンにそれぞれ宿泊。

語らい



食事会

【第2日目：6月14日（日）】

05:00 起床・湖畔散策早朝、真っ白なもやに包まれた静寂のなか、時間の経過とともに湖畔や山々が色彩を帯びていく幻想的な情景を体験。（10年通うメンバーにとっても初めて遭遇するほどの見事な景色であった。）

07:30 朝食越智メンと植田スタッフによる挽きたてコーヒーを皮切りに、朝食を開始。前日の買い出し食材やパンに加え、小野会長からのお土産（仙台の和菓子）も全員で美味しく完食。

09:00 ワークの仕上げ・アクティビティ（カヌー体験）前日に残した仕上げのワークを1時間ほど実施。その後、指導を受けながら全員で初めてのカヌー体験を楽しむ。活動中、シカが湖畔の水飲み場に姿を現すなど、チミケップならではの自然の豊かさを実感。

11:30 キャンプワーク全行程終了・解散札幌チームは、植田スタッフの案内のもと北見YMCA会館を見学。その後「のんた温泉」にて汗を流し、一同帰路に就く。

チミケップ湖栈橋



カヌー体験



YMCAプチ夏まつり報告

柴田 伸俊

2026年6月26日（日）11:30～13:00に時間帯で、体育館にてプチ夏まつりが開催された。ワイズからはかき氷を出店。

11:30より小野会長、柴田ワイズ、柴田メネットが準備が始まった。飲食は「かき氷」のみの為か、開始早々長蛇の列が途切れず三人はてんてこ舞い！冗談も言えず汗をかきながらかき氷に振り回されていた。

1杯200円の4色（いちご・レモン・ブルーハワイ・抹茶金時）。応援を待望していたら12時過ぎに宮崎ワイズが駆けつけてくれ、12時30分には秋葉メネットが参戦。

ホッとしたとたんに、今度はかき氷機が1時間の連続運転で酷使した為か、うなり始めてついにストップするアクシデントが起こる。列の皆さんに機械不調の説明をして15分程休憩後再開した。用意した100個のカップは完売し、残りはワイズコーヒーのカップを代用して100円販売で対処。

こんなに売れたワイズの物販は皆初めてで、全員すっかりエネルギー切れであった。

皆さんお疲れさまでした。



集合写真

左から秋葉、小野、宮崎、柴田、柴田メネット、秋葉メネット



北大YMCA汝羊寮BBQ報告

小野 健

7月4日（土）に恒例（まだ2回目ですが...）の北大YMCA汝羊寮で寮生の皆さんとのBBQパーティーを開催しました。昨年はあいにくの大雨でビニルシートの屋根を急ごしらえて作ってその中での開催でしたが、今回は雲一つないこれぞ北海道！という青空で絶好のBBQ日和でした。

今回のBBQは、「せっかくだからワイズと寮生が準備から一緒に楽しもう！」ということで、買い出しから（ロピア&セイコーマートはやはり素晴らしい！）コンロの火おこし、食材切り、焼き鳥の串打ち、おにぎり握りなどを一緒にワイワイやりながら準備をしました。宴には昨年参加できずに悔しいと言っていた山下東日本区理事がリベンジ参加

（ビールとお肉の差し入れありがとうございました！十勝からの日帰りの弾丸参戦お疲れ様でした）、YMCA理事長の武蔵先生が今年も絶品のちらしずしを作って持っていただいたほか、札幌YMCAのユースリーダー3名とYMCAの湯井君も参加していただきました。あと忘れてはならないのは、近所で汝羊寮をいつも支えていただいているさちこさんに今年も手伝っていただきました。寮生のみならず「さっちゃん」と慕われていて、彼らの札幌のおばあちゃんですね。元寮生の高木翔成くん・このはさんご夫妻も娘さんと一緒に来てくれました！

去年は寮生だけでなくちょうど学会のあった医学部OBのひとたちも参戦して、だれがだれだか良く分からないちょっとカオスの宴でしたが（それはそれで楽しかったのですが）、今年はこじんまりとしながらもおいしい食事とお酒を楽しみながら、たくさん語り合うことができた会になりました。今年も酔っぱらいました！

これからもこのような企画をどしどし考えて、みんなが楽しめるような機会を作っていきますね。



BBQ 集合写真



BBQ 活動写真

何故この言葉を 小野 健

先月からカナダ・メキシコ・USA共同開催のFIFAサッカーワールドカップで盛り上がり、元サッカー小僧の私・小野は連日寝不足気味の毎日を送っています。日本もラウンド32でブラジル相手にとっても良いゲームを見せてくれましたが、残念な結果に終わりました。ブラジルの底力を見せつけられたゲームで、世界はまだ遠いですが、サムライブルーには改めて世界を目指してもらいたいです。

ということで、今月の言葉は、サッカーの神様ペレと39歳でありながら未だワールドカップで無双ぶりを見せつけているメッシの言葉をチョイスしました。どんなに素晴らしい天与の才能を持っていても、日々の努力が絶対に大事であると二人とも語っており、凡才には胸に刺さる有難い言葉です。

私のさっぽろ自慢

伏木 康

「赤れんが庁舎」

1888年竣工の北海道庁旧本庁舎は2025年7月に大規模改修が完了しました。今は入館料300円(一般)で、北海道の歴史や風景に触れることができます。

1階のレストラン「HOUSE.H」では手頃な価格で北海道の食材を使った料理を楽しむことができます。



何故この歌を！ 柴田 伸俊

小学3年のころ富山駅から上野駅まで8時間かけて汽車に乗っての思い出です。

トンネルに入る時は皆一斉に窓を閉め、駅弁は窓を開けて窓越しに買っていました。

帰りの高崎での『釜めし』当時は陶器に入った弁当でした。美味しかった！

※写真は、赤レンガ庁舎webサイトから転載
<https://www.hokkaido-redbrick.jp/>

■短期集中サマープログラム開始！

7月26日よりサマーキャンプおよび札幌YMCA館内で実施するアクアティック、フロアスポーツ、学びのプログラムが順次開始されます！

7月中旬には、サマーキャンプに稼働するユースボランティアリーダーの各種研修を実施します。野外活動の基礎知識および人権理解などの座学やフィールド下見などのトレーニングを経て、本番に挑みます。

今年も、良き思い出づくりとリアルな体験活動を積んでもらえるように、スタッフ・ユースボランティアリーダー共に準備を進めてまいります。



■応急手当講習実施

夏休みを迎える前に、安全研修として、職員対象の応急手当講習（救急法基礎知識の座学、心肺蘇生法・AED使用の訓練等）を実施します。

事故は未然に防ぐことはもちろんですが、職員共通理解のもと、万が一の備えを進めていきます。



日時：2026年6月23日（火）19:00～20:00

場所：YMCA総主事室+オンライン

参加者：小野（長）、秋葉、小谷、北川、柴田、伏木、宮崎、山崎（OL）、本宮

1.7月号ブリテンについて

原稿執筆担当者、ブリテン編集担当（仮）などを資料に基づき協議、決定

2.7月例会について

日時：2026年7月21日（火）18:30～20:30

場所：北海道YMCA 101教室（ハイブリッド）

卓話ではなく、会員からの近況報告とする。

3.2026年6月以降の

例会卓話について

卓話候補を確認し、アサイン担当を確認した。

4. 予算・決算

25-26決算状況を確認し、今後の進め方を決定した。また、26-27予算を決定した。

5.その他

- ・ 汝羊寮BBQ段取り確認
- ・ 東日本区大会@2027札幌について準備すべきことを確認した。
- ・ IYC@ペナン・マレーシアに助成内容を確認し、ユースおよび汝羊寮のメンバーに声がけすることになった。
- ・ 東日本ユースボランティアリーダーズフォーラムについて告知があった。
- ・ 夕張メロンは今年度不作傾向であるため、購入できないことを確認した。

